

紀伊半島をフィールドとした研究に取り組まれている 研究者のみなさまへ

大規模土砂災害対策研究機構の令和8年度会議に参加 いただける研究者を募集します。

1. 募集の目的

国土交通省近畿地方整備局では、平成23年紀伊半島大水害において多数発生した大規模な土砂災害を契機として大規模土砂災害対策研究機構（以下、「研究機構」という。）を設置し、行政・大学・研究機関が連携して調査研究・技術開発等をすすめています。

また、研究成果の報告や意見交換を行う場として、機構会議を毎年開催しております。

このたび、研究機構の委員以外に、紀伊半島をフィールドに取り組まれている研究者と、意見交換や知見の共有を行いたく、参加者を募集します。

2. 大規模土砂災害対策研究機構に ついて

○大規模土砂災害対策研究機構は下記の9機関により構成されます。

- ・国土交通省近畿地方整備局
（大規模土砂災害対策技術センター）
- ・国土交通省国土技術政策総合研究所
- ・和歌山県
- ・那智勝浦町
- ・国立研究開発法人土木研究所
- ・北海道大学
- ・三重大学
- ・京都大学
- ・和歌山大学



○研究機構の活動拠点は、和歌山県東牟婁郡那智勝浦町としています。

○これまでの調査研究等につきましては、下記ホームページに掲載の「大規模土砂災害対策研究機構年報」をご覧ください。

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kiisankei/center/research.html>

3. 参加対象者

- ・学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づく大学又は同附属試験研究機関やその他の研究開発機関に所属されており、紀伊半島をフィールドとした、土砂災害へ対応するための調査研究が行われている研究者
＜研究例＞ 土砂流出、土砂動態、土砂移動（検知、観測手法の開発を含む）に関する研究

4. 応募手続き

（1）応募様式

応募様式については、下記5. に記載の事務局あてにメールにて請求して下さい。返信にて、事務局より様式をお送りします。

（2）提出方法

上記4.（1）にて事務局より送付した応募様式に記入のうえ、ご提出下さい。

提出先 下記5. に記載の事務局

提出方法 電子データをメールにより提出（最大20MB）

提出期限 令和8年10月16日（金）18:00必着

（3）その他

応募いただいた研究者の方には、和歌山県東牟婁郡那智勝浦町にて開催する会議（12月下旬予定）にご出席いただき、場合によっては研究内容をご紹介します。詳細については11月中旬までに事務局よりご連絡いたします。

5. 問合せ・提出先

（研究機構 事務局）

近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター

担当：河川部 河川計画課 松尾、和泉、沼田

TEL：06-6945-6355（河川計画課直通）

メール：kkr-riverpr@mlit.go.jp